

最終改正：2026年1月5日  
(2012年11月15日制定)  
一般社団法人日本電機工業会

## **FL-net 認証費用について**

FL-netの認証に係る費用は下記のとおりとする。

### **1 会社登録**

FL-netの会社登録料は、登録申請書を提出し、受付確認後に指定の口座に振り込む。  
会社登録料は、表1の通りとする。

表1. 会社登録料一覧表 (税込)

機能クラス	会員 <sup>1)</sup>	非会員 <sup>2)</sup>
全クラス共通	330,000 円	330,000 円

### **2 認証試験**

FL-netの認証試験料は、認証申請書を提出し、受付確認後に指定の口座に振り込む。認証試験料は、機能クラスの別により異なり、表2の通りとする。

なお、申請者の都合による再試験によって追加の試験費用が発生した場合、申請者は、表3に示す再試験のための追加費用を支払わなければならない。

表2. 認証試験料一覧表 (税込)

機能クラス	認証試験料		部分的な試験免除の場合 <sup>3)</sup> の認証試験料		試験免除の場合 <sup>4)</sup> の認証費用
	会員 <sup>1)</sup>	非会員 <sup>2)</sup>	会員 <sup>1)</sup>	非会員 <sup>2)</sup>	会員・非会員
クラス1	143,000 円	220,000 円			
クラス2					
クラス3	任意マスター機能実装	308,000 円	451,000 円		
	任意マスター機能非実装			55,000 円	88,000 円
クラス4					10,000 円
クラス5					
クラス6					
クラス7					

表3. 再試験の追加試験料一覧表<sup>5)</sup>

(税込)

機能クラス	相互接続性試験	適合性試験
クラス1		55,000円
クラス2		
クラス3	任意マスタ機能実装	44,000円
	任意マスタ機能非実装	
クラス4		110,000円
クラス5		
クラス6		
クラス7		

注) 会員<sup>1)</sup>、非会員<sup>2)</sup>とも同額

### 3 認証費用の見直しについて

認証費用は、事前の断りなく見直すことがある。

### 4 認証費用の見直し理由

近年における認証費用の見直し理由は、次のとおりである。

2023年7月21日の改定においては、次の理由から認証費用を見直している。

- 試験仕様の見直しにより、相互接続性試験において、10Mbpsと100Mbpsでそれぞれ試験せず、スイッチングハブのオートネゴシエーション機能を用いることになった。これを受け、相互接続性試験の試験工数が変わった。
- 4月1日から試験を委託している神奈川県立産業技術総合研究所の試験費用が電気代高騰を受けて値上がりになった。

2024年1月11日の改定においては、1Gbpsの対応に伴い、次の理由から期間限定で認証費用を変更している。

- FL-netの認証を取得しているが、1Gbpsの認証取得をしていない機器について、認証取得しやすくなる。
- FL-netの普及を目的として、FL-netの認証機器数を増やす。

2026年1月5日の改定においては、1Gbpsの認証取得キャンペーン終了に伴い、キャンペーン前の認証費用に戻した。

以上

注1) 会員とは、一般社団法人日本電機工業会 FL-net推進委員会を構成する製造業者を指す。

注2) 非会員とは、会員外の製造業者を指す。

注3) 派生製品等、適合性試験又は相互接続性試験が免除できると認められた場合。

注4) 派生製品等、適合性試験及び相互接続性試験の両方が免除できると認められた場合。

注5) 再試験時に相互接続性試験、適合性試験の両方を実施した場合は、両者の試験費用の合算額。